

## 令和5年度 地域ケア推進会議の報告について

### (1) 会議の目的

地域包括ケアシステムを構築するための効果的な手段として、保健、医療、福祉等の関係者が連携し、地域の課題について情報交換を行い、課題解決に向けた話合いや政策立案を行うこと。

(2) 開催日時 令和6年2月13日（火）午後1時～午後4時

(3) 場 所 芦屋市役所東館3階 中会議室

### (4) 参加者

高齢介護課、地域福祉課、東山手高齢者生活支援センター、西山手高齢者生活支援センター、精道高齢者生活支援センター、潮見高齢者生活支援センター、芦屋市社会福祉協議会、精道高齢者生活支援センター基幹的業務担当

### (5) 検討内容

- ① 支援センター連絡会（毎月開催）において各センターから提出された地域課題の振返り
- ② 自立支援型地域ケア会議（毎月開催）において各センターから出された事例と助言内容の振返り

### (6) 検討の結果として各センターから出た意見

包括	課題と解決策
東山手	<p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ささいな困りごと（ペットボトルの開封や電球の交換等）への対応</li> <li>② 階段の昇降が難しく、体操やその他の集い場等に参加できない</li> <li>③ 高齢者生活支援センターと介護世代との繋がり薄さ</li> <li>④ 介護保険サービスで対応できない困りごとへの対応</li> </ol> <p>【想定しうる解決策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小さな単位（マンション・ご近所）での助け合い組織を作る</li> <li>② 個別のニーズに対応できる送迎サービスの実現</li> <li>③ 様々な媒体（チャット相談、ラジオ、YouTube等）を用いた広報活動</li> <li>④ 地域住民だけでなく、専門機関にも向けた介護保険サービスの周知</li> </ol>
西山手	<p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 店舗等への包括の周知啓発が不十分で、高齢者への対応を店舗自体で行っている</li> <li>② 単身高齢者の男性が地域と繋がること</li> <li>③ 立地の問題から、公的サービスが利用しづらい地域がある</li> </ol> <p>【想定しうる解決策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 店舗（郵便局・銀行・スーパー・コンビニ・喫茶店等）との関係づくりを進める。</li> <li>② ニーズ調査を行い、男性の興味関心のあるイベントを実施する。</li> </ol>

精 道	<p><b>【課題】</b></p> <p>① ケアマネジャー不足</p> <p>② カスタマーハラスメントへの対応方法が分からない</p> <p>③ 移動手段に乏しく、買い物に行くのが難しい人がある</p> <p>④ 通いの場や体操教室等の継続が難しい</p> <p><b>【想定しうる解決策】</b></p> <p>① 待遇改善等により、芦屋市で働くメリットを作る。セルフケアプランの推進を図る。</p> <p>② カスタマーハラスメントの研修会の実施を検討する</p> <p>③ 移動販売車を活用した昼食会や栄養講座の開催、試食会等を実施する。</p> <p>④ リーダー養成講座の内容の見直し、住民主体の介護予防事業の推進、体操教室の一覧作成など</p>
潮 見	<p><b>【課題】</b></p> <p>① 地域の見守りの目が届きにくい（孤独死や家賃滞納による強制退去など）</p> <p>② 地域と連携した防災への取り組みが不十分</p> <p>③ 権利擁護支援の意識向上に向けた働きかけが不足</p> <p><b>【想定しうる解決策】</b></p> <p>① 地域のをきく機会を意識的に増やす（民生委員とケアマネ交流会の開催など）</p> <p>② 継続的に地域の防災活動へ参加し、センター職員と地域住民が防災に関して話し合う場を作る</p> <p>③ 他機関と協働し、専門職及び地域に向けた啓発を行う</p>

#### （7）今後の取組の方向性

出た意見を各センターに持ち帰り、各センター内での共有を図る。その後、各センター内や4つのセンターの三職種が所属する各部会（社会福祉士部会・保健師部会・主任ケアマネ部会）で、取組み課題及び解決策について検討する。最後に、4つのセンター合同で開催する包括連絡会の中で、令和6年度中に重点的に取り組むべき課題や解決策について、決定する。